

第3回公共交通会議ワーキング会議 まとめ

資料 5

大分類	中分類	具体策等
交通手段	新しい交通手段の活用	<p>交通サービスの充実 ～観光～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリスロ ・電動バイク・キックボード（レンタル） <p>庄原市街地を循環するゆくりしたりのりもの</p> <p>電動スクーター（原付のような）が欧州で流行りはじめているが、学生は使わないか</p> <p>移動販売は色々な店舗と話すに、費用対面で実現可能性低い</p> <p>バスの整備（自転車における等）も重要</p> <p>バス停までの手段 シニアカー、ささえあい交通、バス停の整備</p>
	接続する所の使いやすさ	<p>今回おためしのデマンド予約バスで楽しむ為、夜利用時間の延長を考えて欲しい？</p>
	活動時間	<p>使いやすいダイヤ、乗り継ぎ調整</p>
	抵抗感なさ	<p>お金を気にせず乗れる</p> <p>家から目的地まで安価な運賃で移動できれば良いと思う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外出機会を増やす ・サブスク（定額乗り放題）
サービス	利用者目線でのデジタルツールの使いやすさ、バス停のリネーム	<p>手ぶらで外出できる（買ったものをとどけてもらえる）と、自家用車以外も使える</p> <p>アプリを作るとき、バス停ではなく目的地名を入れると使ってもらえるようになった事例あり</p> <p>スマホよりハードルの低い予約ツール、例えばテレビとか</p> <p>のりあいタクシーと路線バスを道の駅等であつなく</p>
	接続拠点を有意義な場所	

	<p>通勤</p> <p>目的地側も対応</p> <p>需要の調整</p> <p>移動の創出</p> <p>移動の創出 チョイソコツアー</p> <p>コミュニティ・健康・みんな</p> <p>サービス側の思いやり</p>	<p>通学だけでなく、通勤で利用することを奨励すれば、バスの便数なども増えるのかも・・・</p> <p>医療はタクシーなどを②使ってどうにかしている</p> <p>目的地側が交通を留意する 例) 通院先の病院</p> <p>午後の診察代を安価にする特典をつけるなどで、午前にタクシー集中する通院需要を平準化できないか? (法的に難しい?)</p> <p>高齢化によって地域の友達と会える機会が少なくなっている →比和は比和、森脇、古頃、●原など6地域があるが、小地域以外の友達に会えない 「コミュニティ」づくりを求めている③ ・男性のコミュニティが課題</p> <p>コトの創出 (かんぽ、グラウンドゴルフ)</p> <p>楽しみ、生きがい、どんな活動がしたいか、市民が行きたい場所を増やして移動手段を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買物は、食べ物には生協①移動販売車があり、子供も買ってくるからさほど困っていない様子 ・女性にはえらんで買いたいという要望がある。特に服! <p>思いやり。乗り換える時にドライバーさんでフォロー (荷物を積んであげる)</p> <p>人と人との触れあい</p>
市民の意識	<p>文化の形成</p>	<p>タクシーをなじませる (人目にせず)</p> <p>乗り方教室等、対面アナログが意外と効果有り</p> <p>乗りものまつりなど、公共交通等の露出、存在感を上げる。駅とバスセンターも一体化したので。自分は子供の頃こういうイベント大好きでした</p>
供給側	<p>人材</p>	<p>供給・担い手 → 異業種からの参入は? 例、ガソリンスタンド 副業・兼業 (夜間) 組合、ドライバー登録、派遣 農) 閑散期?</p> <p>空き時間の副業になるような意味があれば ← ドライバー確保のこと?</p> <p>介護、福祉のサービス、ドライバーの高齢化が進んでいる?</p> <p>2種免許でなくとも、1種免許でも運転できるように</p> <p>普通2種免許の費用が高い</p>

	観光との連携	直島のように路線バスを使った観光の検討
	選択肢増やす	子供が遊びに出かけられる手段になる
まちづくりとの連携	選択肢増やす・他目的連携	スクールバス、乗合タクシーの方法をやっている事例あり（チョイソコ）
	地域拠点との考え方の整理	まちづくりと公共交通の連携 ・リモートで買い物・診察 ・宅配、支援、小さな拠点づくり ・公共交通を使わない仕組み
マーケティング	ビッグデータも活かして細かなマーケティング	利用者像、公共交通に対するニーズを持つている層をもっと明確にできないか
	ビッグデータも活かして細かなマーケティング	マーケティングをしっかりとやって、現状とニーズを踏まえた施策をする
		ひまわりバス 平日 商業施設 ダイヤ増 土日 祝 観光ルート ダイヤ増
交通対策の体制	役割分担の再考	基幹路線（町⇄町）バス以外はタクシーを利用（接続）したらどうか 庄原市内の生活（公共）交通の柱をタクシーにする×IOT
	マネジメント体制	推進組織が細かく議論、民間感覚 危機感を持っているタクシー会社。どう前向きになってもらうか 身近な地域内の移動について、互助で出来る事もあれば難しい事もある。何か良い解決策があれば・・・

①交通サービスの提供を新しい手段も取り入れて、役割分担も再考しつつ検討

②拠点（乗りかえ）

③利用者のニーズに対応・データに基づき

④フレキシブルに活用

⑤移動を創出

⑥コミュニティ・みんなで

⑦使いやすい運賃、時間帯、ダイヤ、接続

⑧地域内拠点、まちづくり

⑨供給力の確保

⑩マネジメント（行政負担も考慮）→ who? 政策分野